

# 2020・教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ 「環境体験教室」			
題名・副題	人工の雲を作ろう ～地球の水循環と水の大切さを知ろう～			
月日・時間	9月27日(日) 10:00～12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・1階会議室			
部会・講師名	大気・水環境部会 大岩俊雄	参加数	7名	講師数 5名
写真				
	砂漠で生き延びるには？クイズ		水性ペンの色素が分離する実験	
				
	地球のどこに水があるのかな？		ペットボトルの中に「人工の雲」作り実験	
成果解説	<p>この教室は、生きものにとって水は重要なものであることを学び、生きものと水の関係、地球上の水循環、雲の役割や水資源の大切さを学ぶことが目的。授業では、クイズ、実験などを通じて、水の存在、水の性質、雲ができる条件などを理解し人工の雲作りを体験します。</p> <p>導入では、砂漠（水のないところ）で人が生き延びるために必要な物は？とのクイズからスタートし、水の性質や役割について説明、地球は水が存在する太陽系唯一の惑星であることも解説しました。</p> <p>実験では、水が物を溶かす性質について、ペーパークロマトグラフィの原理を使って水性ペンの色素を分離する実験を体験しました。休憩後、水は地球のどこにあるかをクイズで考えました。そして、地球に存在する水の量に比べ人類が使える水は、著しく少ないことから水は貴重な資源であり、水を大切にすることを学習しました。</p> <p>メインテーマの「人工の雲づくり」では、いろいろな雲の発生、天気と雲、低気圧と高気圧、ゲリラ豪雨など身近な気象について解説した後、子どもたちが持参したペットボトルの中に、人工の雲作りに挑戦しました。アンケートには雲作りがとても楽しかったとありました。</p>			